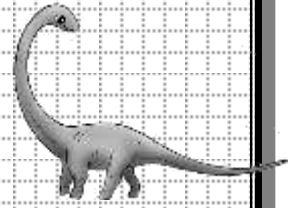


# けんぱくものしりシート

## 化石 せき石



みなさんは「化石」と聞くと何を想像しますか？  
恐竜？アンモナイト？それとも魚でしょうか？

### 化石とは

化石は、今からおよそ1万年よりも前の時代に生きていた「生物の死体」や「生物の生活した様子」が、砂や泥などの中に埋もれて現在まで残ったものです。骨や貝がら、葉っぱの他に、卵や巣、ふん、足あと、くさらずに残った肉や体毛、花粉なども化石と言います。



### 化石のでき方

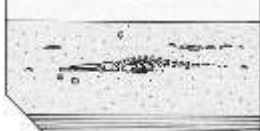
海の中でクジラが泳いでいる。



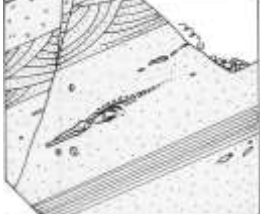
クジラが死んで骨が残る。



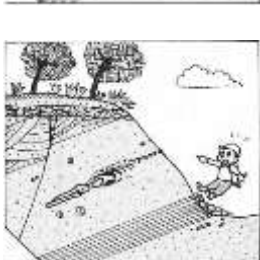
その上に砂や泥が積もる。



砂や泥が固まり、板のように積み重なって地層となる。



地層に少しずつ力が加えられ、海の上まで盛り上がり陸になる。



雨や風でけずられた地層から、化石が見つかる。

### 化石からわかること

①これまで地球上にはどのような生物がいたか？そしてどのように進化したか？



②化石が見つかった地層は何年前のものか？



例) ある種類のアンモナイトは、中生代(2億5100万年前～6550万年前)にしか生きていませんでした。このことから、その種類のアンモナイトが見つかる地層は中生代のものとわかります。

③化石となった生物はどのようなところで生活していたか？

例) サンゴ化石が見つかったら、暖かく浅い海が広がっていたことがわかります。





それでは、岩手県で見つかった主な化石をご紹介します。

**パレオパラドキシア (約1500万年前)**



このような体をして  
いたと考えられます。

**コハク (約8500万年前)**



コハクは樹液の化石  
です。大昔にはこの  
ような森が  
広がって  
いたようです。



**ハダカイワシ (約1500万年前)**



水深400m くらいの深い海に生き  
ていたと考えられる魚です。  
その化石が山の中から見つかる  
なんてびっくり!!



**モシリユウ (約1億1000万年前)**

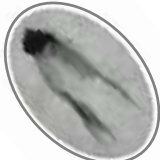


日本で初めて見つかった恐竜の化石です。  
左前脚の一部の化石だけで、全長22mの恐竜  
であったことがわかります。



**偶蹄類の足あと (約100万年前)**

足あとも立派な化石!!  
足あとをつけた正体は  
ハナイズミ  
モリウシの  
ような動物!?



**ハナイズミ  
モリウシ (約2万年前)**



**日石サンゴ (約4億年前)**

岩手県で見つかった化石  
の中で一番古い時代のも  
のです。当時は今の沖縄  
県にあるような暖かい海が広がって  
いたようです。



現在私たちが目にする生物の一部も、数万年後の未来には「化石」になると思うと何だか不思議な気持ちになりますね。

参考にした本 『岩手県内化石めぐり』 岩手県立博物館友の会設立準備会 1984年  
『ニューワイド 学研の図鑑 鉱物・岩石・化石』 株式会社 学研教育出版 2005年 他

来月(8月)の  
けんぱくものしりシートは  
考古-7だよ!  
おたのしみに!



モッチャン



**岩手県立博物館**

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>